

渋谷区役所  
Shibuya City Office

shibukatsunavi

vol.03

# 渋谷カツナジ

カンレキ・テイネンを迎える人の  
渋谷・地域活動アビューガイド誌

特集

自分がこどもの  
居場所になろう。

変わるシブヤ  
変わるジブン  
清水ミチコ

渋谷公会  
Shibuya Public



# リタイア後の生活について

※( )内の年数は渋谷区在住歴

	不安が大きい	少し不安	何も心配していない
今の渋谷が好きだ	<p>社会保障など、不安が多い。</p> <p>Dさん(13年)</p> <p>今の渋谷は歩きにくい！ 本屋がなくなった！ 人が多すぎ。</p>	<p>災害。 首都直下地震。</p> <p>Hさん(30年)</p> <p>今より安全だったと思う。 節操なくゴチャゴチャしている現在の渋谷には行きたくない。</p>	<p>今より安全だったと思う。 節操なくゴチャゴチャしている現在の渋谷には行きたくない。</p> <p>2025年を境にどう変化していくのか…</p> <p>Gさん(20年)</p>
あの頃の渋谷が好きだ	<p>Jさん(40年)</p> <p>Fさん(?年)</p>	<p>Iさん(37年)</p>	<p>Kさん(57年)</p> <p>Aさん(21年)</p> <p>Mさん(60年)</p>
昔も今も渋谷が好きだ		<p>常に活気がある。</p> <p>Cさん(42年)</p>	<p>常に活気がある。</p> <p>Aさん(21年)</p> <p>Mさん(60年)</p>
渋谷が好きじゃない	<p>本当にリタイヤして、ゆっくり過ごせる状況ではなくなるかもしれない。</p> <p>Eさん(53年)</p> <p>支給される年金が少ないと思うので生活が不安。(金銭的)</p> <p>Lさん(57年)</p>	<p>Eさん(53年)</p> <p>今も昔も渋谷は渋谷駅周辺しか見ていない気がする。</p>	
無回答		<p>Bさん(22年)</p> <p>健康に暮らせるかどうか。 介護が必要になったとき、どうするか。</p>	

自分が二十代だった頃に比べて今の渋谷は？

## 大

学時代の友人が定年間近になって、久しぶりに渋谷に来るようになったらしい。学生時代にやっていたロック系音楽サークルのバンド仲間と定期的に音楽スタジオに集まって練習しているという。なぜ渋谷なのかはよくわからないが、首都圏各所に散らばったメンバーがちょうど集まりやすい口ケーションなのだろうか。還暦前後にもなると時間に余裕が出来なくなるし、同級生の出世とも気にならなくなっていて、気軽に同級生と集まって「下」でもやりたくなくなる年齢なのだろう。

「でもねえ、この歳で重いエンジニアを背負って渋谷の街を歩くのは疲れる。しかも、来るたびに渋谷駅周辺が変わっていきよく分からん」と言う友人。

今も何らかの磁力で定年世代を引き寄せる渋谷だが、近年の大きな変化には困惑しているようだ。振り返れば、高度成長期を終えた1970年代後半〜80年代は、「テレビ」などから提供されるマスカルチャーに対抗するサブカルチャーが大きく花開いた時代だ。フロック/ロック/ニューミュージック、映画、マンガ、演劇、現代思想、ファッション。そしてそれを支える多様な雑誌メディア。今の定年世代は10代後半から20代前半の多感な時期にこのサブカルチャーの洗礼を受けた世代であり、渋谷という街はサブカルチャーの象徴だった。

現在の渋谷は「消費」と「資本の論理」が徹底した街として完成されようとしている。資本効率をあげるために土地と空間を無駄なく使うことで限界まで多様な情報やサービスや商品を生み出す街。でも、バブル期までの渋谷は「消費」に加えて「創造」が絶妙に混じっていた気がするし、西武やパルコのような流通企業が「資本の論理」と「文化の論理」の両刀使いとして活躍していた。というように、どうしても懐古的になつてしまふ定年世代なのだが、もしかするとそれも凝り固まった考え方のかもしれない。今号では、渋谷世代(渋谷在住の定年世代)の意識をリアルに探るべく、渋谷在住歴13名の方々に対して簡単なアンケートに答えていただいた。



かつての新人類  
それを渋谷世代と呼んでみる

1960年前後生まれ区民アンケートより(裏表紙に掲載)

(自分が20代の頃に比べて今の時代は?)には、「今はいい時代だが13人中5名、「今がいい時代とは思わない」が13人中6名、「とくに変わらない」が2名と、今の時代を肯定的に感じている人と否定的に感じている人がほぼ半々という結果であった。

現状否定派の具体的な意見としては、「あふれる情報についていけない」「誤った個人主義がはびこっている。昔はまだ人間らしい時代だった」「今ほど社会階層が固定化されていないから」「昔は空想の世界が実現 じ自分の物にできたが今は大 変」といった声があった。

現状肯定派では「男女平等が進んだから。(雇用機会均等法など昔はなかった)」という声もあった。ちなみにこの方は渋谷在住歴37年の女性で、男女によっても時代の感じ方が違っていることが窺える。

別の質問では、「渋谷の変化」と(リタイア後の不安)についても聞いてみた。

渋谷の変化については、「昔も今も渋谷が好きだ」という現役派が4名、「あの頃の渋谷が好きだ」という懐古派が5名

と、こちらもちろのグループに分かれる結果となった。この結果に「リタイア後の不安」への回答を重ねてみると、懐古派ほどリタイア後の不安が大きいことが分かる。(※図参照)

「あの頃の渋谷が好きだ」という懐古派の声をひいてみると、「今の渋谷は歩きにくい! 本屋がなくなった! 人が多すぎ」「今より安全だ」と思う。節操なく「ゴチャゴチャしている現在の渋谷には行きたくない」「2025年を境にどう変化していくのか」「災害、首都直下地震」と、これまでの変化に加えて将来に起きる変化にも不満や不安を感じていることが分かってきた。

編集部としては、サンプル数1ではあるが、「リタイア後の不安を 感じている」もの「昔も今も渋谷が好きだ」と答えた方がいらつしやうなことに注目したい。この方は渋谷在住歴42年なのだが、渋谷の街を「常に活気がある」と回答されている。

大きく変わった渋谷。そしてこれからも大きく変わる渋谷。変わるシブヤを肯定的に受け止めている渋谷世代が意外にも多かった印象を受けたアンケート結果だ。「変わるシブヤ」にも「変わるシブヤ」にも、またサブカルチャーの精神と活気が残っている。この証なのかもしれない。(編集部W)

©写真:1984年スペイン坂のDCカップル  
©ACROSS編集室(パルコ)



# 渋谷公 Shibuya Publ

変わる  
変わる  
ジブ  
ン シブ  
ン ヤ

## 2020に60になる 60年うまれの清水ミチコさん♪

20代、40代、60代と、偶数はワリと怖くない。なぜかね。やっぱり、30代、50代の時は胸にグサリと来ました。奇数はハードルが高いと聞いたことがあるので、70代になる時の準備を60代のうちにしておこうかなと思っています。ということは、90代もショックなのかな。最近ではステキなシルバーグレーの方も多く、とても魅力的なので、自分もゆとりのある老人力がつけばいいなと思います。

渋谷カッナジ 掲示板

Sixty is welcome!

## ボランティアさん募集 「福祉」編



わたしにもやさしい“あっとほーむ”な空間で。

### 「絆の会・福祉作業所ふれんど」

主に知的に障がいのあるひとたちが支援者とともに生きていく力を養う場所でオリジナル商品の製作や公園の清掃、植栽活動、レクリエーションなど様々な活動があります。長時間でも短時間でも、メンバーと一緒に時間を過ごして下さるボランティアさんを募集しています。

【所在地】渋谷区笹塚2-33-9

【活動日】月～金曜日 時間等の詳細はお問い合わせください

【連絡先】☎03-3299-2694

特定非営利活動法人 絆の会



障がいのある子どもたちとオトナナカヨシに♪

### 「渋谷なかよしぐるーぷ」

知的、発達障がいのある子どもたちと放課後を料理やゲーム、ダンスなどをして楽しく過ごす活動です。週末には、大学生のボランティアも加わります。やっぱり食べることが大好きという若者が集まってくるオトナナカヨシという活動もあります。ぜひ気軽に遊びに来てください。

【所在地】渋谷区西原2-36-7

【活動日】火～日曜日 時間等の詳細はお問い合わせください

【連絡先】nakayoshig1970@gmail.com

特定非営利活動法人  
渋谷なかよしぐるーぷ



社会復帰を目指すひとのために出来ること。

### 「みどり工房」

精神科に通院しながら社会復帰を目指す方々が「仕事の練習」をする場所です。工房とカフェを運営しています。①工房作業(手芸・清掃・利用者用ランチ作り)②カフェ作業(仕込み・片付け・配達)③食堂等での作業のうち、関心をお持ちの1項目を月1回数時間からご協力いただける方、大募集です!

【所在地】渋谷区千駄ヶ谷5-3-12

【活動日】 時間等の詳細はお問い合わせください

【連絡先】☎03-3356-9517

特定非営利活動法人  
よりどりみどり



わたしの手作りを美味しく食べてもらおう喜び。

### 「ぱれっと」

知的障がいの人たちの「働く」「暮らす」「遊ぶ」を総合的にサポートしているNPO法人ぱれっと。その「暮らす」の場である「えびすぱれっとホーム」で、入居者の夕食づくり(主に平日10食程度の買出しから調理まで)をサポートして下さる料理ボランティアを募集しています。

【所在地】渋谷区東2-11-4

【活動日】 時間等の詳細はお問い合わせください

【連絡先】☎03-5766-7302

特定非営利活動法人  
ぱれっと



## 変わるシブヤ、変わらないシブヤ

短大に行くことになって高山から上京してきてすぐに渋谷に向かったって感じですね。バルコ出版の「ピックリハウス」※1って雑誌が、それこそサブカル※2のバイブルで、憧れていましたので。

バルコに行かなくっちゃーってことで、まずは渋谷の、この公園通り※3を目指しました。サブカルの聖地がここにあるんだ〜という気がして。糸井重里さん※4があそこにいるんだ〜とかね。高山にいた頃はサブカルなんて言葉も知りませんでした。YMO※5っていう存在を知って、そこからですね、目覚めたのは。大ヒットするばかりが音楽じゃないんだぞとか、そついうのがサブカルの哲学なんですよね。

わたしが幸いにもサブカルの聖地で受け入れられたのは、動物園的な業界でもあるので、ちよつと珍しかったんじゃないですかね。でも今も昔もみんな若いし、若いよつっていう意識が渋谷に集まってるよつとか、保たせる努力は必要ですよ。若い頃はできたんですけどね、夜中にラーメン食べるとか、アルコールとか。さすがに最近はおした本番があるから控えめにしよつとかコントロールしますね。べつに無理に我慢するわけじゃなくて、自分でコントロールするのが楽しくなってるんですよ。

あとは、ストレスで眠れないことが多くなりますよね。歳とつてくると。収録までに台詞を覚えなきゃならないとか、そういうのが重なるストレスになりますね。今やつているドラマ※6なんか医療の専門用語が多くて、台詞がたいへんなんです。しゃべったことがない言葉ばかりなので。それはもうストレス(笑)。

ストレス解消法はとにかくピアノを弾くことですね。進学で東京にやっできて、自分の部屋には当然ピアノがなくて弾けなくなつて、そしたらやつぱりこんなに弾きたくなるものかと思つて、それでピアノのあるレンタルスタジオ探したぐらいいで

るひとにはとくに高い気がしますよね。

## 変わるジブン、変わらないジブン

小さい頃からぜんぜん変わらないと言えは変わらないですね。性格的にもいつも働いていたいほつなので、昔からずつとちよこちよこやつていきますね。でも、これまで自分がいちばん新人だったりと、いつもまだ先輩がいらつしやるつて感じでしたけど、今はどこ行つても最年長という立場が多くなつてきたので、だんだん(歳をとつてきたこと)実感はでききましたね。

この先にながでできるかわからないですけど、ライブは続けながら、こついう芸能ごとは好きなので、ドラマであつたりとか、音楽の現場とか、いろんなことにチャレンジしていきたいですね。今まではタラタラタラ運良くやつてこられましたけど、これからは体力とか、やつぱり能力とかも衰えていくと思つので、当然からだのケアはしないとね。ジムに行つたりだ

した。今もストレスがあるときは自分から弾きたくなるんですよ。

## 60になったらシルバーさん!

わたしはもう絶対シルバーさん※7がいいと思います。シルバーさんに家のまわりの雑草取りをお願いしたりするんですが、自分もちよつとシルバーさんになつてみたいなと思つてくうちに意識がすごい高いかたが多くて。それだけ若いつていうか、いきいきしているし、なんか颯爽としているつていうか。生命力がちがうなつて感じがするんですよ。とりあえず60になつたら、みなさんシルバーさんになるといつてもアリではないでしょうか。

個人差はあるでしょうけど、やつぱり大事なんじゃないかと思えますよね、仕事つていうものは。目の前に仕事をつくる余暇の楽しみもやつてくるし、あと、よく眠れるつていうのもありますかね。それから何よりも、人との接点が生まれますよね。

### ※1「ピックリハウス」

バルコ出版から発行された、80年代文化の発信拠点となった今や伝説の雑誌。読者からの投稿によって成立する名物企画を数々そろえたバロディ雑誌であり、オモシロ雑誌であり、なによりサブカル雑誌だった。短大生時代の清水ミチコさんは高橋章子編集長のお眼鏡に合った常連投稿者の一人。

### ※2 サブカル

サブカルチャーを略して日本でそう呼ばれるようになったが、「サブカル」という表現を好む人たちのあいだには、メインカルチャーに対抗するサブカルチャーという従来の文脈から外れた日本独自の文化への矜持があるようだ。まさに「ピックリハウス」とともにサブカルは「見える化」していった。

### ※3 公園通り

渋谷公園通りは、言わずと知れた日本の若者カルチャーの震源地。1981年のバルコPart 3のオープンによって「バルコ文化」は最高潮に。清水ミチコさんが86年にライブデビューを果たした小劇場「渋谷ジャンジャン」も2000年の閉店まで長らく公園通りの顔だった。2019年、渋谷区役所の新庁舎を皮切りに、バルコ、渋谷公会堂がリニューアルオープンし、公園通りの模様替えが完成。

### ※4 糸井重里さん

清水ミチコさんの登場頻度も高い「ほぼ日刊イトイ新聞」(ほぼ日)社長とし

て名高く、広告クリエイティブが注目をあつめた80年代にはコピーライターという職業名をお茶の間にまで広めたサブカル文化功労者。上記「ピックリハウス」では「ヘンタイよいこ新聞」という人気コーナーを担当。

### ※5 YMO

細野晴臣、高橋幸宏、坂本龍一の3名による音楽グループ「イエロー・マジック・オーケストラ」の通称。テクノポップを世界的にヒットさせただけでなく、音楽の枠を超えてテクノカットという髪型まで大流行させた究極のサブカル文化アイコン。われらシルバー-新人類世代としては、YMOを知らない若者世代の台頭に戸惑いを覚えるきよこの頃。

### ※6 ドラマ

人気テレビドラマ「ドクター-X」の2019年10月からの新シリーズに、清水さんは癌ゲノム研究に携わるアクの強い内科医「浜地真理」役で出演。ずっと見ていたドラマだったためオファーがあったときはピックリ大喜び。役名を聞いて、清水さんのモノマネでもおなじみの天地真理を連想しないシルバー-新人類はいないだろう。

### ※7 シルバーさん

シルバー-人材センターの略だが、高齢化社会の到来とともに清水ミチコさんならずとも全国的に「シルバーさん」の呼称が浸透。60歳からシルバーさんになることが可能。渋谷区シルバー-人材センター ☎03-5465-1876

# 自分がこどもの居場所になろう。

1

■「景丘の家」の誕生と  
こどもテーブル  
P10

2

■わが家がこどもテーブルに  
「ちもまんち」  
P12

4

■その子のすべてを受け入れる  
「養育家庭」  
P16

5

■こどもテーブル「初台ガイラ」  
こみずうつるさん  
P18

3

■子育てをちょっとお手伝いする  
「ファミサポ」  
P14

こどもの居場所づくり。今日の地域社会にとって、ますます大事な課題のひとつ。その子の置かれている境遇は様々だけれど、どの子ども安心して成長できる居場所を求めている。できる範囲で、居場所を提供してあげよう。おこがましい言い方だが、自分の一部を差し出してみよう。思いがけず一緒に子どもがいる空間。案外そこが60の自分にとってもいちばんの居場所なのかもしれない。

- かつての新人類それを渋カツ世代と呼んでみる  
～ 1960 年前後生まれ区民アンケートより ..... P2
- 変わるシブヤ、変わるジブン。  
清水ミチコさんインタビュー ..... P5
- 若手シルバーさんにきく ..... P8
- 渋カツ 90 歳ヒアリングプロジェクト ..... P19
- シニアクラブの風景 ..... P20
- 渋カツナビ掲示板 ボランティアさん募集 ..... P4、P21

若手シルバーさんにきく

「電球一つ取り替えるために  
お年寄りのお宅に出向く。  
誇りをもてる仕事です」

菊池晃一郎さん(62)



60になったら  
シルバーさん  
もいいかも!

シルバー人材センター  
☎ 03-5465-1876



「だ」しかまだ60になる前でしたね。何かできることはないかと思って、自分でシルバー人材センターを探し当てました。そう語る菊池さんは、知る人ぞ知るフレンチのオーナーシェフ。60でシェフを定年退職された、というわけではなく、今も猿樂町にあるご自身のお店「Le Sample」を続けながら、空き時間を使ってシルバー人材のお仕事に励まれている本業と二足の草鞋のシルバーさんです。

伝説のジャズピアニスト「ジョー・サンブル」との出会いから人生が変わったという菊池さん。店名もサンブル氏が名付け親（菊池さんの背後に見える写真の人物がサンブル氏）というかつこいキャリアの持ち主ですが、たった一つの電球を取り替えるだけというシルバーの仕事にも誇りと感謝を見出す日々です。

「ついつい（電球の取り替え）さえできなくて困っていらつしやるかたがいて、自分のできることをさせてもらえる。こんなありがたいことはないですね」

そして景丘の家は  
「子どもテーブル」が  
集まる場所に。

mother dictionary 尾見紀佐子さん



へと生まれ変わりました。現在、子どもテーブル活動の拠点として、5団体を超える団体に利用されています。その一つ、月に一度ひらかれる「景丘の家・子ども食堂」は、子どもと大人と一緒に料理をつくり、囲炉裏を囲んでみんなで食べる、まさにみんなの食卓です。「手作りのあたたかいご飯をみんなで食べることはとても大事だと思っています。おいしいものを囲んだら距離も縮まるし、みんな笑顔になるんです」。景丘の家を運営するmother dictionary代表の尾見紀佐子さんは言います。3人のお子さんを育てるなかで生まれた視点をベースに、子どもやティーンに関わるさまざまな活動をされてきた尾見さん。子ども食堂にもその経験が生きています。「ここでは大人と子どもと一緒に作ることで、あえてひと手間かけることを大切にしています。社会はどんどん便利になっていきますが、手間をかけることで育つことがあります。うんです」。共に作り、共に食べる。そんな一見なんでもないことが、人をつなぎ、居場所を作ると教えてくれる景丘の家です。

家は子どもたちに  
役立ててほしい—  
それが遺言でした。

「景丘の家」誕生ストーリー



特集

1  
自分が子どもの  
居場所になろう。

景丘の家  
渋谷区恵比寿 4-5-15  
☎ 03-6455-7835

「土地建物共、渋谷区社会福祉協議会に寄附しますので、恵まれない子供たち或いは進学を希望しても自分の勉強する場所もない子供たちのためにビルを建ててもらいたい。」  
故郡司ひささんへの遺言はこんな一節からはじまります。長年住んだ思い入れのある場所を子どもたちのために役立ててほしい。そう考えた郡司さんは、不動産や預金などの財産を寄付することに決めたのでした。  
この地の旧町名にちなみ、「景丘の家」と命名された郡司さんの旧邸宅。内部改修のうえ、しばらくは青少年や障がい者、高齢者団体、町会、ボランティア団体などの活動場所として活用されていました。  
そんな景丘の家に転機が訪れたのは2016年のこと。建物の老朽化などにもない、郡司さんの遺志を実現する場所となるべく、建替え計画が立ち上がったのです。  
折しも世間では子どもの孤食が社会問題となっていました。そこで景丘の家は、建替えを進め、2019年3月、子どもテーブル事業をはじめ、あらゆる世代が交流できる場



こどもテーブル  
やってみようかと  
思ったら  
渋谷区社会福祉協議会  
☎ 03-5457-0221

「わが家が  
こどもテーブルになる」  
という手もある。

「ちもママんち」木村望美さん

2

自分がこどもの  
居場所になろう。

特集

玄関の扉を開けた瞬間、びっくりするほど元気な子どもたちの声がかだましてきました。ここは西原にある「ちもママんち」。わが家を「近所の子どもたちに開放している、ちよつと変わり種のこどもテーブルです。」

まるでわが家のようにのびのびくつろいで過ごす年齢好もさまざま子どもたち。「ちもママ」こと木村望美さんは、産休中の4年前に遭遇したある場面がきっかけだったと振り返ります。

「雨のなか小学生の男の子二人が喧嘩をしていたんです。『あした帰りの会で言うからな!』『言えばいいじゃん!』って泣きながら言い合っていて。そのうちの一人が、木村さん宅のご近所に住むタカヒロ君でした。聞くとおうちの方はまだ帰らないといっています。見かねた木村さんは、「おうちの人が帰るまで(うちに来る?)と声をかけます。」

その一件以降、学校帰りにタカヒロくんが木村さん宅へ遊びに来るようになり、それを聞きつけた近所の子もたちも次第に集まるようになりました。ちなみに「ちも」とい

のは、木村さんの愛犬の名前。ご近所で有名なアイドル犬です。ちも君の散歩などを通じてご近所との交流があったことも、ちもママんちの誕生を後押ししました。

集まる子どもたちの年齢も2歳から6までと幅広いちもママんち。元気づけるゆえの喧嘩もありつつ、子どもたちが一緒に遊ぶつを食べたり遊んだりしている光景は、ながら大家族のお茶の間のよう。常連の一人であるナナちゃんは、「ちもママんちがうちの第二の家だから」とさっぱり。同じく常連のユカちゃんも「前は放課後クラブに行っていたけど、こつちのが楽しい!この人(ちもママ)ふざけてるし(笑)」と言い切ります。

「夫がワーカホリックでワンオペ育児なので、なにもなかったら孤独にはまっていたかも。近所のママや子どもたちのおかげで助けられています。むしろ将来、子育ての手が離れたら『さびしい!』となりそう」と木村さん。居場所づくりを通じた子どもたちやそのご家族との交流が、木村さんの笑顔の原動力となっているようです。

# ときどき 孫の面倒をみるような気分 子育てをちょっとお手伝いする 「ファミサポ」です。

ちょっと子育ての支援をしてみたいと思ったら…  
渋谷区ファミリー・サポート・センター  
☎ 03-5457-0221



カンレキ間近の渋谷世代が子育てにいそしんだ頃は、地域に支えられた経験はあまりなかったかもしれませんが、それどころか地域社会の崩壊が叫ばれた時代だったでしょう。渋谷でユニークなこどもの居場所づくりに取り組むこみずさん(◎18頁参照)も、「社会を変えようとかそんな大それたことではなくて、自分たちの子育て時代に足らなかつたことを少しでも埋められれば」という思いが活動をつづける動機と云います。

いちばん子育てがたいへんだった頃にこんなサービスがほしかつたと渋谷世代の誰もが共感するのが「ファミサポ」ではないでしょうか。保育園の送迎や預かりなどの「子育ての支援をしてほしい人」と「子育ての支援ができる人」が地域で顔の見える関係になって、育児の有償ボランティアを行なう会員組織がファミリー・サポート・センターです。94年から国の補助事業として始まりましたが、最近その存在を知ったという人も多いのでは？今のファミサポさんのありのままの「コマをちょっと」紹介。

ドライだけれどあったかいナナメの関係  
「そろそろ行くかしら」

夕暮れ迫る千駄ヶ谷。出かける準備をはじめめる木場田(こばた)睦子さん(77)。月一回のお迎えの日。近所の保育園に向かって歩き出します。子育て支援の活動に関わるようになって7年。きっかけはどんなことから？

「同じビルに入っていた幼稚園の活動を手伝うようになってからですね。子育ての経験もあつたし、もともと子どもが好きなので、なにかできないかなと思うようになって。それからファミサポに登録しました」

10分ほどで保育園に到着。3年の付き合いになる年少さんの男の子コウ君を迎えます。



何気ない会話を交わしながら手をつないで帰路につく二人の姿は、知らない人からすればどう見てもおばあちゃんとお孫さん。でも木場田さんにお孫さんはまだいません。

「ただいま!」というコウ君に、「おかえり」という男性の声。お出迎えはご主人とネコです。コウ君もネコちゃんとも大の仲良し。気心知れた祖父母の家で母が帰るまでの時間を楽しく過ごす孫の図そのものです。

腹ペコのコウ君のために、木場田さんおばあちゃん手づくりのご飯が用意してあります(※食費は有料)。今夜のメニューは、チキンの甘辛焼き、カキのクリームシチュー、ブロッコリーとリンゴのサラダ、お芋ご飯。



ファミサポ会員として、これまで何人も地域のお子さんの面倒をみてきた木場田さん。「とつてもよく食べてくれる女の子がいてね。餃子なら20個くらいをぺろり。次は何を食べさせてあげようかしらってご飯を作るのが楽しみになつて。その子は大きくなつても、今年賀状を毎年くれたりするんですよ。今まで10人くらいの子どもと過ごしてきましたけど、みんな、いい思い出ですね」。

「ご飯の後はお迎えまでゆつくり遊びの時間。お母さんが着いたらコウ君とお別れです。玄関先でコウ君の様子を伝えます。

「あまり深くならず、いい意味でドライにつき合えるほどの関係がいいんです」





## 養育家庭（里親）の認定登録と子どもを受け入れるまでの流れ

### ①児童相談所へ問合せ

……エリアごとに決まった担当の児童相談所へ相談。



### ②申請要件の確認

……家族構成や収入要件、住居要件等の確認を受ける。



### ③認定前研修の受講

……2日間の座学研修と施設での実習。



### ④申請

……里親になることを希望する家庭が必要書類を提出。



### ⑤家庭調査

……家族全員の在宅時に、児童相談所の職員等が訪問調査。



### ⑥審議

……調査結果をもとに児童福祉審議会里親認定部会が里親認定の適否を審議。



### ⑦認定登録

……審議結果をふまえ東京都知事が認定。2年ごとに登録更新の手続きあり。



### ⑧候補児童・候補家庭の選定

……子どもにあった候補家庭を児童相談所が選定。



### ⑨候補児童との引き合わせ・交流

……児童相談所の職員立ち合いのもと、子どもが生活している場所で面会。その後交流を重ねる。



### ⑩児童の委託

……交流の様子をみながら家庭への委託（受け入れ）が決定。新しい生活がスタート！



養育家庭に  
関心をもたれたら  
子ども家庭  
支援センター  
☎ 03-3463-3748

## もう一度子育てを始めるという選択 その子のすべてを受け入れる 「養育家庭」になる。

4

特集  
自分がこどもの  
居場所になろう。

これまで仕事や育児をバリバリとこなしてきた活カツ世代も気づけばカンレキ目前。お勤めも子育ても一段落する今だからこそ、もう一度子育てを通じた社会参加を始めてみるというのはいかがでしょう。親と暮らすで困っている子どもを家庭に受け入れ育てていく「養育家庭」という選択肢があります。

親の病気や経済的な困窮、虐待など、さまざまな理由で親と一緒に暮らすことのできない子どもが、都内だけで約4千人居ます。そうした子どもたちの約9割は、乳児院や児童養護施設などで暮らしています。施設が悪いということではありません。しかし、家庭だからこそできることがあるのもまた事実。

「特定の大人との愛着関係のもとで育つ」と、子どもの安心感や自己肯定感、基本的な人への信頼感も養われます」

東京都児童相談センターの養育家庭専門員は言います。また、安心できる家庭生活を経験することは、子どもが将来家庭を築く際のモデルにもなります。

里親とひと口に言っても、それぞれの養育家庭の状況に応じて受け入れる子どもの年齢も期間もさまざまです。「子どものために」という思いは共通ですが、小さい時から制度上の委託期間が終了する18歳まで育て続ける場合もあれば、中学生に絞って緊急避難的に数日から数ヶ月の短期間だけ受け入れをおこなっている家庭もあります。

東京都では毎年、都内各所（※渋谷区でも）で「養育家庭体験発表会」を開催しています。養育家庭について、実際に子どもを受け入れている里親の生の声に触れられる場です。渋谷区第2美竹分庁舎でひらかれた発表会では、「里子との会話で普段見られない夫のユーモアを見ることができた」「里子と三人になって夫婦の関係も変わって、いろいろな新しい経験をさせてもらっている」と里親の二人が口々に語りました。

もちろんいい時ばかりでないのは、子育てなので当たり前。養育家庭ならではの苦労もあります。それでも子どもと共に過ごす時間は、里親にとってもかけがえのないものであると、当事者の声が物語っていました。



シブカツ  
90歳  
ヒアリング  
プロジェクト

こどもの居場所づくりを活動にしているわけですが、  
主人と一緒に大人の居場所づくりをしてるんですね。  
こどもテーブル「初台ガイラ」  
主宰・こみずうつるさん（71）

5  
自分がこどもの  
居場所になろう。  
特集



こどもの居場所づくりに  
関わりたいと思ったら、  
こみずのうーちゃんに  
相談してみよう♪  
☎ 03-5388-8437  
初台ガイラ

「90歳を傾聴せよ」  
in シブカツ

シニアクラブ新楽会の山仲江美子さん（90歳）  
長いおつとめの後も「現役」続行中。  
聞き手：竹澤みほ子（シルバー人材センター）

四 歳で越してきてからず  
つとここにいます。臨 お「さんという名前だと記憶  
川小学校卒業して、女学校に しています。あの上原謙によ  
行きました。戦争中も、近所は く似た先生でした。みんな憧  
強制疎開させられましたが、 れてましたね（笑）。いまでも  
うちは父親も一緒に残って、空 二桁くらいは暗算はできます。  
襲で家は焼けてしまいました 自然にできるんですよ。  
が、焼けた後は空地で陸稲と<sup>おかほ</sup> 女学校を卒業して最初は内  
か野菜を作って食べてました。 閣統計局で出納係でした。それ  
小学校五年の時から算盤塾 から結婚して（三十歳、五十  
に行きました。たしか恵比寿 歳をすぎるまでおつとめをし  
橋の先のお寺（福昌寺）の境内 ていました。少してから近所  
を入れて左側のところにバラ の人に勧められて「新楽会」に  
ックが建ててあり、個人の先 入会しました。現在、副会長で  
生が塾をやっていたので、通 会計係を担当しています。

月に一度こどもテーブルが開かれる初台  
ガイラは上水緑道沿いにあるカレーの美味  
しい居酒屋です。店主のこみず夫妻の飾らな  
いおもてなしが近所の親子を引き寄せます。  
「地域でこどもが遊べる場所を確保してあ  
げる役割が大人にはあるんじゃないかな」と  
言う奥さまのうつるさん。こどもの居場所と  
いう言葉を耳にするようになった20年前  
から様々な活動を手がけてこられたこども  
の居場所づくりのパイオニア的存在です。多  
大な功績を残されているわれわれは、カツ世  
代の大先輩ですが、大人からも子どもからも  
「うーちゃん」の愛称で親しまれています。  
「やりたいと思ったら始める。やめたくな  
ったらやめる。集客を競うわけじゃない。誰  
も来なくても待つてる。そういう場所がある  
ことがこどもには大切。いよいよよってなつた  
ら行く場所の一つに選んでもらえたらいい」  
こどもの居場所づくりの極意を語る頼れ  
るうーちゃんですが、こどもたちに開放され  
る二階建ての小さな空間は、こみずさんご夫  
妻の大人の居場所でもあるんですね。

Sixty is welcome!

## 「洪カツナジ」掲示板

# ボランティアさん募集 「コミュニティ」編



子どもといっしょに泥んこになろう。

## 「渋谷はるのおがわプレーパーク」

15年前にオープンし、土日は区外からも家族連れが遊びに来るほどの渋谷の名所となった「はるブレ」。「子どもたちが自分の責任で自由に遊ぶ」がコンセプトですが、大人の協力が欠かせません。プレーリーダーの若者をサポートして、子どもたちといっしょに泥んこ遊びを楽しむボランティアさんになってみませんか。

【所在地】渋谷区代々木5-68-1  
渋谷区立はるのおがわコミュニティパーク内  
【活動日】火～日曜日 時間等の詳細はお問い合わせください  
【連絡先】☎03-3481-9661  
任意団体  
渋谷はるのおがわプレーパーク



渋谷区15kmゼンぶが運動場

## 「渋谷区どこでも運動場プロジェクト」

公園や道路、緑道など、区内のいたるところで、子どもも大人も体を動かしながら、地域の人たちがつながる場をつくるプロジェクトです。自分の住んでいる地域で、仲間を集めながら実際に場をひらいてみるという前のめりなボランティアです。実施にあたっては事務局が相談・サポートしてくれるから安心。

【所在地】区内のいろんな場所で★お問い合わせください。  
【活動日】随時 お問い合わせください  
【連絡先】info@tokyoplay.jp  
一般社団法人  
TOKYO PLAY



あの「プロボノ」の本拠地は渋谷にあります。

## 「サービスグラント」

仕事で培った経験や専門知識を活かしたボランティア活動「プロボノ」を通じて、NPOや地域活動団体を支援しています。個人や5人前後のチームで参加するもの、期間も1ヵ月程度の短期から半年ぐらいの長期までいろいろなプロジェクトがあります。プロボノとして参加を希望する人は、まずは説明会に行き、自身の業務経験等を登録してみましょう。

【所在地】渋谷区渋谷1-2-10  
【活動日】月～金曜日  
最新の説明会開催日程はHPをご覧ください。  
【連絡先】info@servicegrant.or.jp  
認定NPO法人  
サービスグラント



若い頃からラジオは特別なメディアだった。

## 「渋谷のラジオ」

渋谷を拠点とするコミュニティFMラジオ放送局。周波数は87.6MHz、渋谷区一円で聴くことができるほか、スマホアプリでも聴取できます。ボランティアのディレクターやパーソナリティーが大活躍しており、小学生から60代まで幅広い世代が参加しています。4月と10月の番組改編期に新規ボランティアの参加を募集しています。

【所在地】渋谷区渋谷3-22-11  
【活動日】毎日  
【連絡先】info@shiburadi.com  
特定非営利活動法人CCQ



手先を使う！  
頭を使う！  
会話がはずむ！

## シニアクラブの風景 「麻雀」

病み付きになるほど健康になるらしい。  
新楽会(地域交流センター新橋)を  
たずねて



お問い合わせ  
シニアクラブ  
☎ 03-3463-1857

かつての老人会が今はシニアクラブと名称を変え、ずいぶん身近になった印象ではあるものの、新人類の洪カツ世代が60になったからと自分から敷居を跨ぐには、まだ少々勇気が要るかもしれない。でも、敷居の向こう側が見えれば心持ちも変わるだろう。たとえば洗牌のジャラジャラ音でも聞こえよものなら思わず身を乗り出す輩もいることだろう。

シニアクラブの活動として麻雀が広まったのは案外最近のことだ。火付け役は新橋地区の「新楽会」小野道子会長。御年84歳の会長は長年ご主人や子供達と家庭麻雀を嗜んでおられたが、「手先を使う」「頭を使う」「会話がはずむ」という健康麻雀のリハビリ効果に魅了され、シニアクラブ連合会に働きかけ、渋谷区「健康麻雀大会」の実現に至る。二〇一四年に開催された第一回大会では小野会長率いる新楽会が見事優勝を飾る。長年、不健康麻雀で慣らした猛者たちよ。ご近所のシニアクラブで、ヘルシーな卓が席を空けてお待ちしておりますよ。

渋谷生涯活躍ネットワーク

# シブカツ!

## 『渋谷生涯活躍ネットワーク・シブカツ』開設中!

2019年7月に渋谷ヒカリエ8階に開設した『渋谷生涯活躍ネットワーク・シブカツ(通称:シブカツ)』は、人生100年時代を見据えて、概ね55歳以上のプレシニア世代からアクティブシニア世代の区民が、いつまでも楽しく元気に活躍し続けられるように、各々が持つ経験や能力を活かすことができる機会や新たな学びの場などを提供しています。

シブカツの支援は、「学ぶ」「はたらく」「つながる」の3つを大きな柱としています。

「学ぶ」については、シブヤ・ソーシャル・アクション・パートナー(S-SAP)協定を締結している区内大学や企業等との連携による『渋谷ハチコウ大学』を10月から開校しています。既に約500人の区民が学生として登録し、各大学やシブカツのイベントスペースで、熱心に学んでいます。

「はたらく」については、「シルバー人材センター」や「渋谷ビッテ」などの区関係機関との連携による情報提供や「クラウドワーキング」や「プロボノ」のような新しい働き方のご紹介をしています。

「つながる」については、区内で活動しているNPO法人や地域活動団体をシブカツのウェブサイトにて紹介していますので、興味のある団体へ直接お問い合わせいただくことができます。また、区が実施している様々なイベントもご紹介していますので、気になるイベントを探してお出かけください。

始まったばかりのシブカツですが、紹介している地域活動団体について詳しく教えてほしい、また、自分が持っている能力を活かして何かをやってみたい、というご相談をスタッフがお待ちしております。ぜひ、一度シブカツへ足をお運びください。または、ご自宅でシブカツのウェブサイトをご覧ください、新たな好奇心の扉を開きましょう。

■当事業の問い合わせ先(月～金:午前11時～午後7時/土:午前9時～午後5時)  
 福祉部生涯活躍推進課 電話 03-6451-1418(直)  
 渋谷区渋谷2-21-1 渋谷ヒカリエ8階



Let's join a "neighborhood association"!

The association has delights for you.

# 町会に入りましょう!

町会が、あなたのために出来ること。



**安全**  
 防犯パトロールや見守り活動、交通安全運動など、互いに顔の見える活動を通して、地域の安全を高めています。

**防災**  
 自助・共助・公助が一体となって、災害に強いまちづくりに取り組んでいます。非常食や防災用品を地域で備蓄しています。

**美化**  
 住民自らがまちの美化活動にやりサイクル活動に積極的に取り組んでいきます。多くの方の参加をお待ちしています。

**伝統・文化**  
 季節ごとの行事やお祭りなど地域の文化を引き継ぎ、守り、次世代に伝えています。子供向けイベントもたくさんあります。

町会は、地域の生活環境の向上を目指してさまざまな活動を行う、住民の皆さんによる自主的な集まりです。  
 渋谷区には105の町会・自治会があり、さまざまな活動を実施しています。

Public safety

Disaster prevention

Clean-up activity

Handing down traditions

町会の加入などについてのお問い合わせはこちらへ

渋谷区町会連合会事務局

☎ 03-3463-1649



■ご自身が20代だった頃と比べて今の時代は

1今はいい時代だ 2今がいい時代とは思わない 3とくに変わらない

■今の20代の若者に比べて自分たちは

1めぐまれていた 2苦勞が多かった 3とくに変わらない

■ご自身が20代だった頃と比べて今の渋谷は

1今の渋谷が好きだ 2あの頃の渋谷が好きだ 3昔も今も渋谷が好きだ 4昔も今も渋谷は好きじゃない

■リタイヤ後の生活について

1不安が大きい 2少し不安 3なにも心配していない

■「終活」について

1考えている 2まだ考えていない 3まったく考えない

■今後の生活で大切になるものはなんですか ※複数回答可

1お金 2健康 3伴侶 4趣味 5心のゆとり その他( )

■渋谷で生活することについて

1他所よりも楽しみが多い 2不便や不満が多い 3とくに何とも思わない

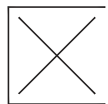
■最期は渋谷で迎えたいですか

1そうありがたい 2わからない 3それはありえない

自分が二十代だった頃に比べて今の渋谷は？

※2~3pのアンケートの質問項目

渋谷



ちがいを  
ちからに  
変える街

YOU  
MAKE  
SHIBUYA

令和2年3月15日発行

カンレキ・テイネンを迎える人の  
渋谷・地域活動デビューガイド誌

渋谷カッナジ vol.03

発行：渋谷区 区民部地域振興課

TEL：03-3463-1649

©渋谷区 禁無断転載

